

肝炎ウイルス検査及び肝炎対策に関する調査

1 調査の目的

この調査は、県民の肝炎ウイルス検査の受検状況を把握し、もって今後の県及び国の肝炎対策の推進に当たって参考とすることを目的に実施したものである。

ことば

ウイルス性肝炎	肝炎ウイルスに感染して起こる「ウイルス性肝炎」は、自覚症状に乏しく、感染経路も様々であるため、自分自身で肝炎ウイルスに感染しているか否かを判断することは困難である。 ウイルス性肝炎は、肝硬変・肝がんへと重症化する疾患であることから、早期発見・早期治療が重要となっている。
肝炎ウイルス患者	肝炎ウイルス患者は、B型が110～140万人、C型が200～240万人いると推定されており、ウイルス性肝炎は我が国最大級の感染症といわれている。 本県は、C型肝炎の感染率が高く、肝がん死亡率は東日本で青森県に次いで第2位と、高い水準となっている。
県の肝炎対策	県では平成24年7月に「山梨県肝炎対策推進計画」を、平成29年3月に「第2次山梨県肝炎対策推進計画」をそれぞれ策定し、市町村、医療機関、肝炎患者等とともに肝炎対策に取り組んでいる。

2 調査期間

平成29年8月4日～9月15日

3 モニター数

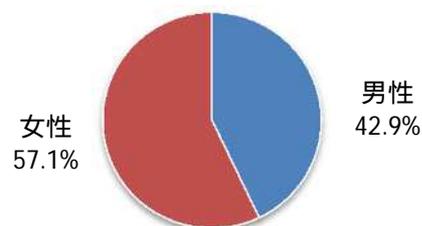
県政モニター区分	モニター数(人)	回答数(人)	回答率(%)
合計	399	351	88.0
一般モニター(郵送による調査)	322	284	88.2
インターネットモニター(電子メールによる調査)	77	67	87.0

4 モニターの回答状況

割合については小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%とならないことがある。

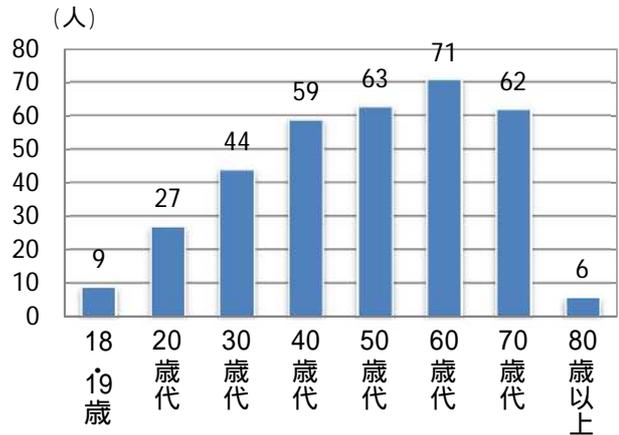
1 性別

性別	回答数(人)	割合(%)
合計	350	100.0
男性	150	42.9
女性	200	57.1



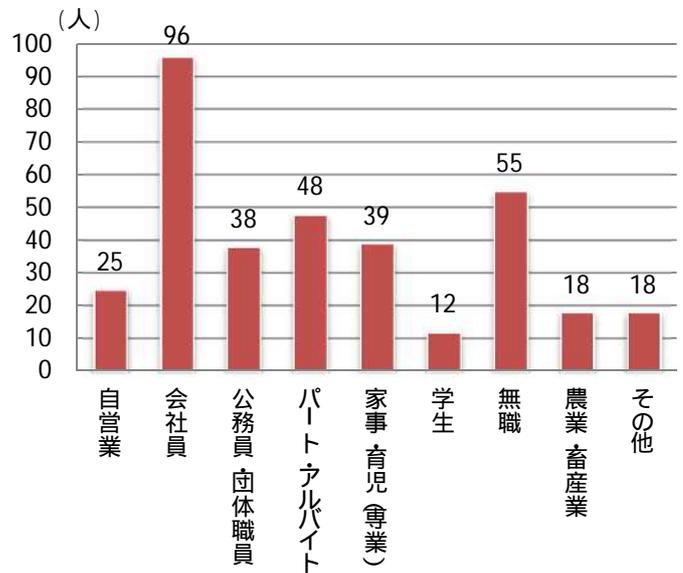
2 年齢

	回答数(人)	割合(%)
合計	339	100.0
18・19歳	9	2.6
20歳代	27	7.9
30歳代	44	12.9
40歳代	59	17.3
50歳代	63	18.5
60歳代	71	20.8
70歳代	62	18.2
80歳以上	6	1.8

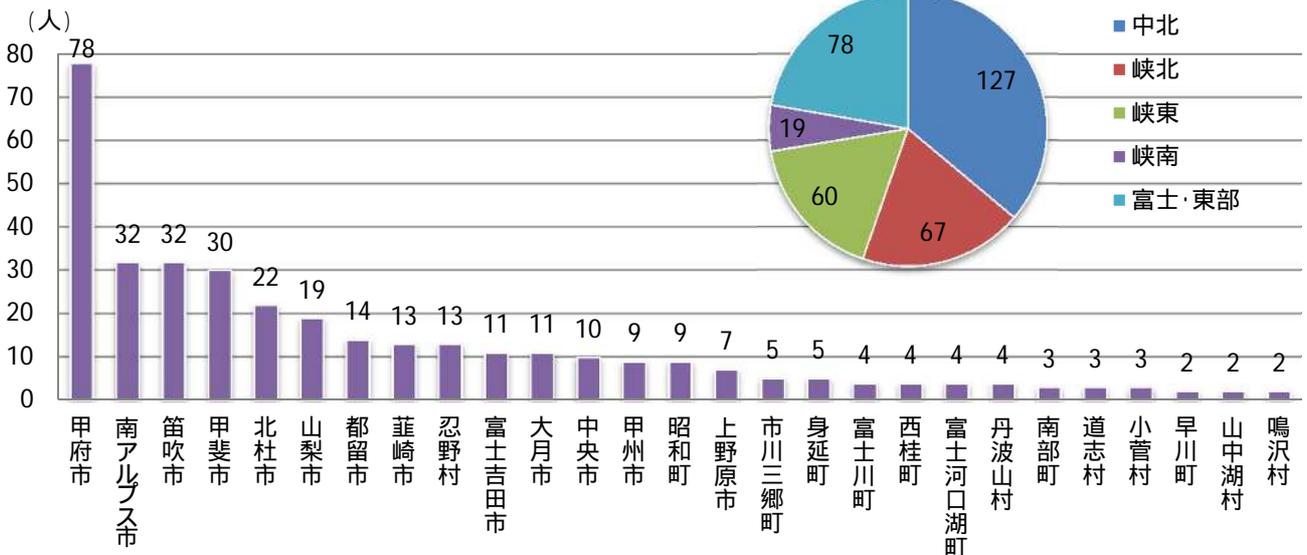


3 職業

性別	回答数(人)	割合(%)
合計	347	100.0
自営業	25	7.2
会社員	96	27.5
公務員・団体職員	38	10.9
パート・アルバイト	48	13.8
家事・育児(専業)	39	11.2
学生	12	3.4
無職	55	15.8
農業・畜産業	18	5.2
その他	18	5.2



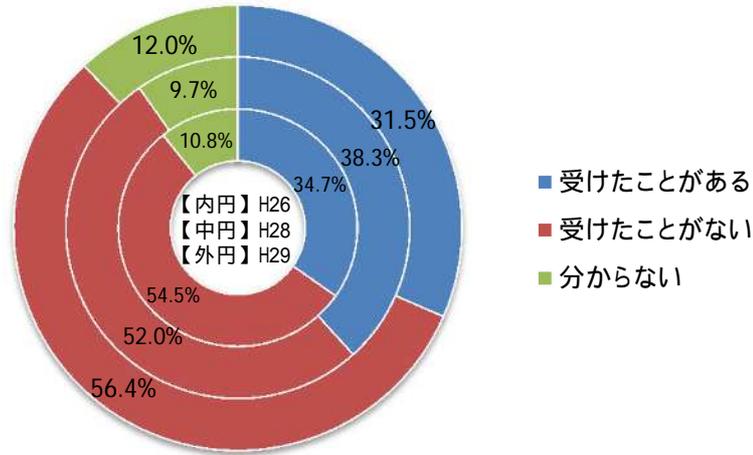
4 居住地



	合計	甲府市	南アルプス市	笛吹市	甲斐市	北杜市	山梨市	都留市	韮崎市	忍野村	富士吉田市	大月市	中央市	甲州市
回答数	351	78	32	32	30	22	19	14	13	13	11	11	10	9
割合(%)	100	22.2	9.1	9.1	8.5	6.3	5.4	4	3.7	3.7	3.1	3.1	2.8	2.6

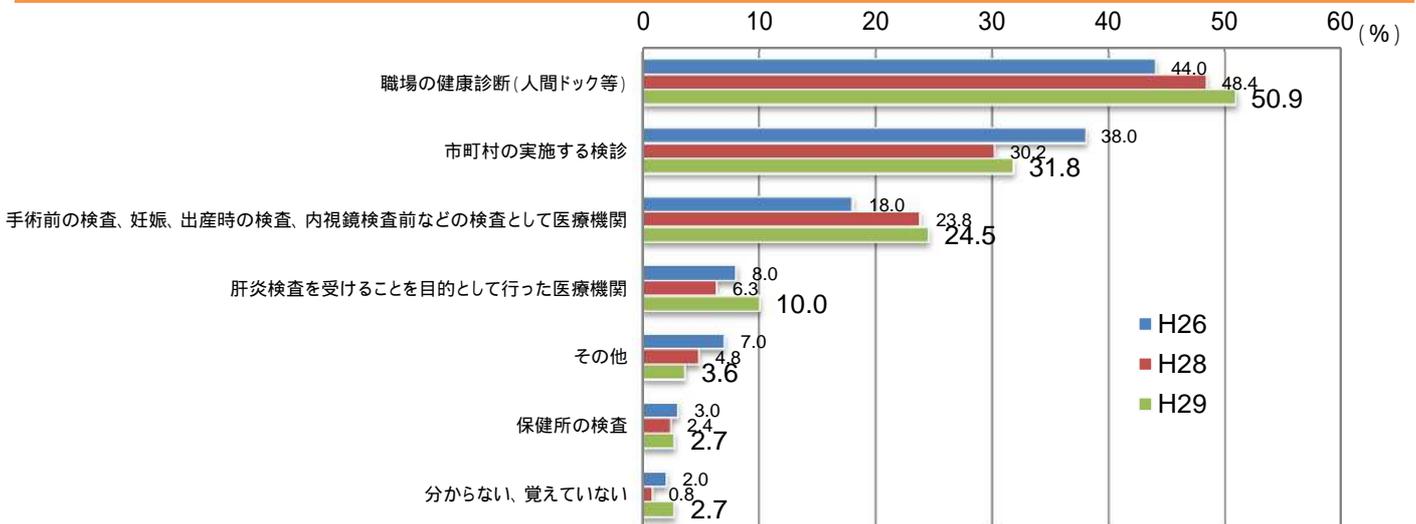
	昭和町	上野原市	市川三郷町	身延町	富士川町	西桂町	富士河口湖町	丹波山村	南部町	道志村	小菅村	早川町	山中湖村	鳴沢村
回答数	9	7	5	5	4	4	4	4	3	3	3	2	2	2
割合(%)	2.6	2	1.4	1.4	1.1	1.1	1.1	1.1	0.9	0.9	0.9	0.6	0.6	0.6

問1 今までに「肝炎ウイルス検査」を受けたことがありますか(一つ選択)



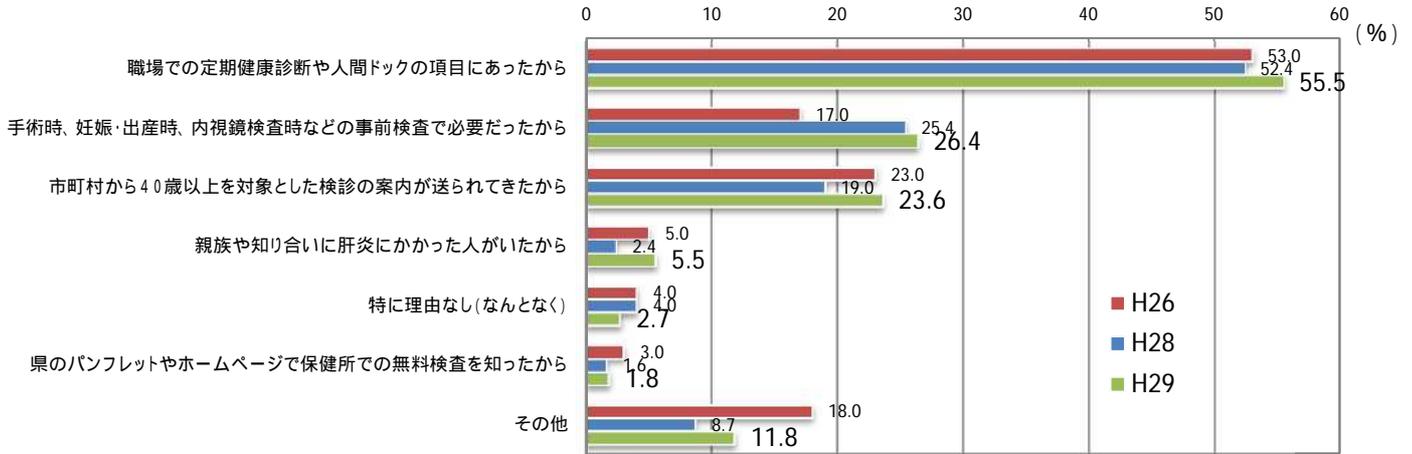
	H29		H28	H26
	回答数(人)	割合(%)	割合(%)	割合(%)
合計	350	100.0	100.0	100.0
受けたことがある	110	31.5	38.3	34.7
受けたことがない	197	56.4	52.0	54.5
分からない	42	12.1	9.7	10.8

問2 肝炎ウイルス検査をどこで受けましたか(複数選択可)



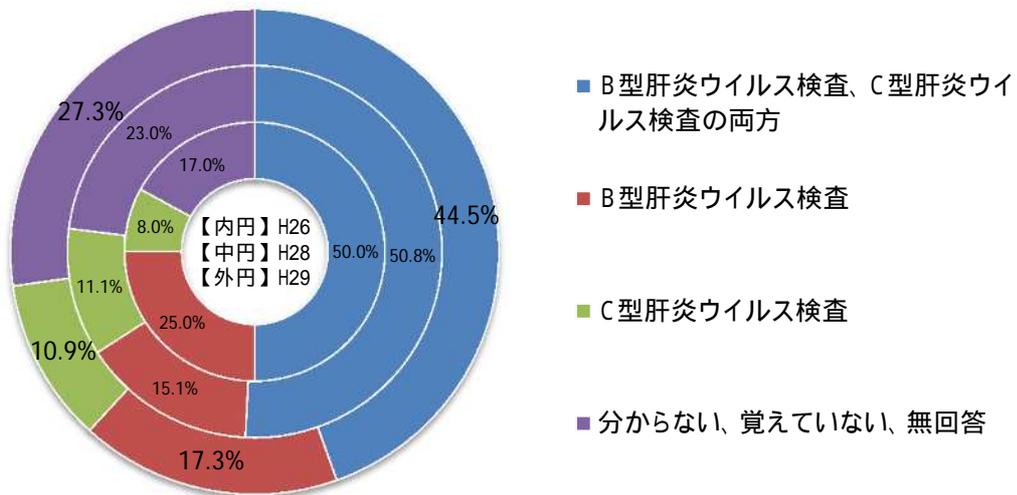
問1で「受けたことがある」と回答した者(再掲)	H29		H28	H26
	回答数(人)	回答率(%)	回答率(%)	回答率(%)
職場の健康診断(人間ドック等)	56	50.9	48.4	44.0
市町村の実施する検診	35	31.8	30.2	38.0
手術前の検査、妊娠、出産時の検査、内視鏡検査前などの検査として医療機関	27	24.5	23.8	18.0
肝炎検査を受けることを目的として行った医療機関	11	10.0	6.3	8.0
保健所の検査	3	2.7	2.4	3.0
その他	4	3.6	4.8	7.0
分からない、覚えていない	3	2.7	0.8	2.0

問3 検査を受けたきっかけはどのような理由ですか(複数選択可)



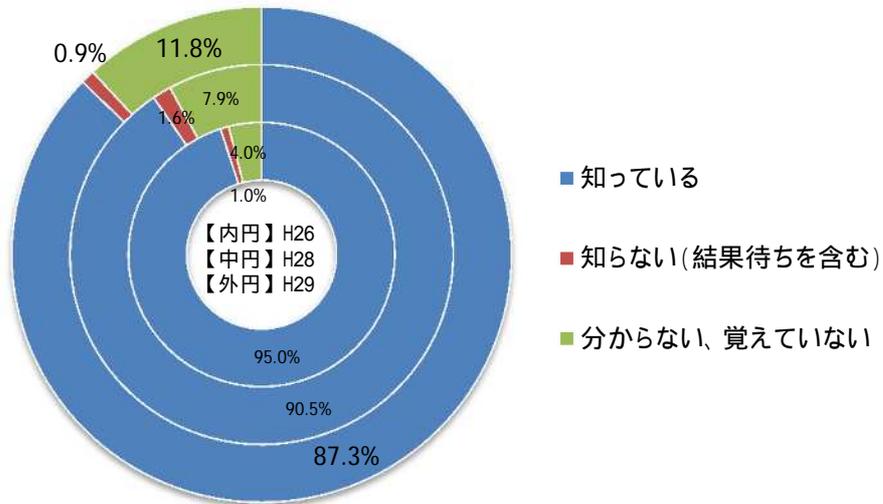
	H29		H28	H26
問1で「受けたことがある」と回答した者(再掲)	110		126	100
	回答数(人)	回答率(%)	回答率(%)	回答率(%)
職場での定期健康診断や人間ドックの項目にあったから	61	55.5	52.4	53.0
手術時、妊娠・出産時、内視鏡検査時などの事前検査が必要だったから	29	26.4	25.4	17.0
市町村から40歳以上を対象とした検診の案内が送られてきたから	26	23.6	19.0	23.0
親族や知り合いに肝炎にかかった人がいたから	6	5.5	2.4	5.0
特に理由なし(なんとなく)	3	2.7	4.0	4.0
県のパンフレットやホームページで保健所での無料検査を知ったから	2	1.8	1.6	3.0
その他	13	11.8	8.7	18.0

問4 受けられた検査の種類はどの検査ですか(一つ選択)



	H29		H28	H26
問1で「受けたことがある」と回答した者(再掲)	110		126	100
	回答数(人)	回答率(%)	回答率(%)	回答率(%)
B型肝炎ウイルス検査、C型肝炎ウイルス検査の両方	49	44.5	50.8	50.0
B型肝炎ウイルス検査	19	17.3	15.1	25.0
C型肝炎ウイルス検査	12	10.9	11.1	8.0
分からない、覚えていない、無回答	30	27.3	23.0	17.0

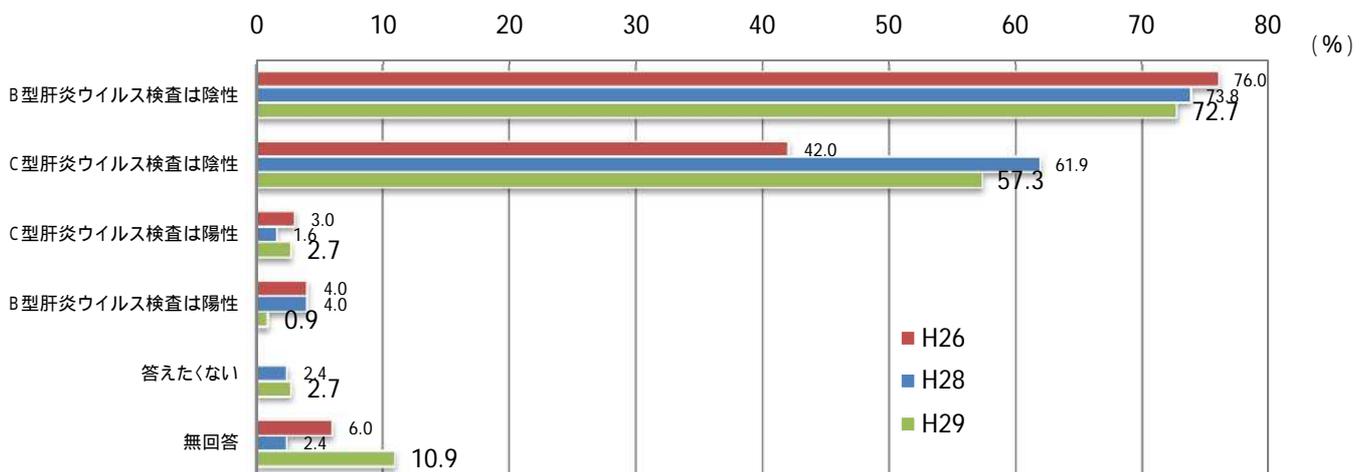
問5 検査の結果をご存知ですか(複数選択可)



	H29	H28	H26
問1で「受けたことがある」と回答した者(再掲)	110	126	100
	回答数(人)	回答率(%)	回答率(%)
知っている	96	87.3	95.0
知らない(結果待ちを含む)	1	0.9	1.0
分からない、覚えていない、無回答	13	11.8	7.9

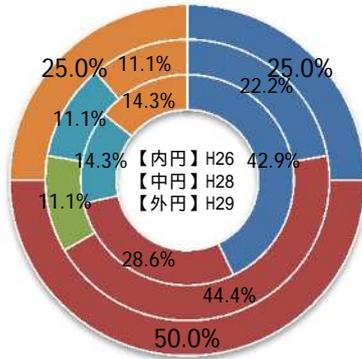
問6 差し支えなければ検査結果をお答えください(複数選択可)

問4でウ(B型、C型肝炎ウイルス検査の両方)と回答した方は両方の結果をお答えください。



	H29	H28	H26
問1で「受けたことがある」と回答した者(再掲)	110	126	100
	回答数(人)	回答率(%)	回答率(%)
B型肝炎ウイルス検査は陰性	80	72.7	76.0
C型肝炎ウイルス検査は陰性	63	57.3	61.9
C型肝炎ウイルス検査は陽性	3	2.7	3.0
B型肝炎ウイルス検査は陽性	1	0.9	4.0
答えたくない	3	2.7	2.4
無回答	12	10.9	6.0

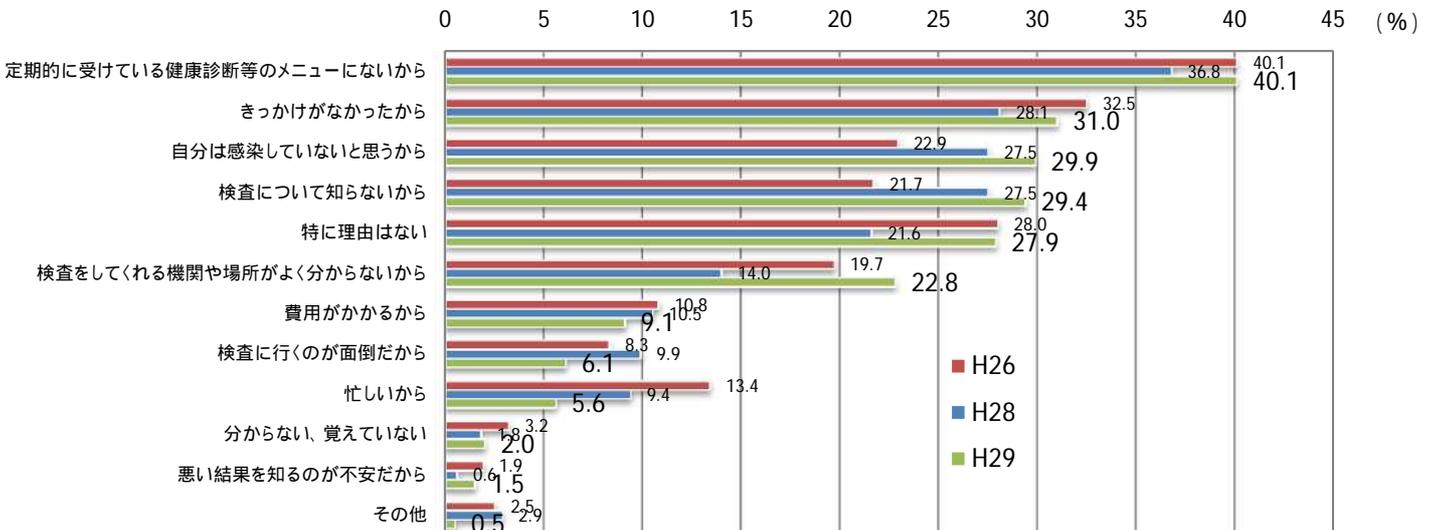
問7 問6でB型又はC型肝炎ウイルス検査で陽性と答えた方にお聞きします。結果を受けて、医療機関を受診しましたか(一つ選択)



- 受診し、治療したため、今は受診していない
- 受診し、現在も継続して定期的を受診している(治療中、経過観察中)
- 受診し、治療していないが、医師から受診を終了してよいと言われ、今は未受診
- 受診したが、自己判断で通院を中止し、今は受診していない
- 一度も受診していない
- その他

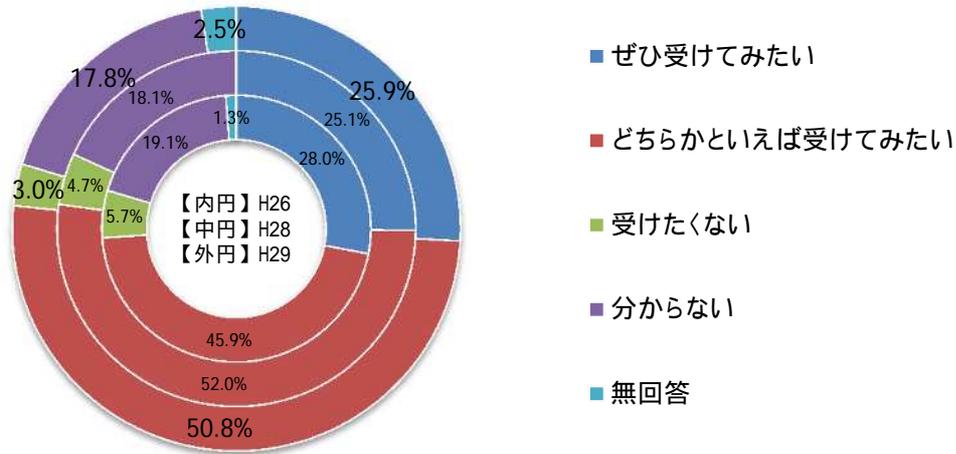
	H29	H28	H26
問6で「肝炎ウイルス検査で陽性だった」又は「答えたくない」と回答した者の数(再掲)	4	9	7
	回答数(人)	回答率(%)	回答率(%)
受診し、現在も継続して定期的を受診している(治療中、経過観察中)	2	25.0	44.4
受診し、治療したため、今は受診していない	1	50.0	22.2
一度も受診していない	0	0.0	11.1
受診し、治療していないが、医師から受診を終了してよいと言われ、今は未受診	0	0.0	11.1
受診したが、自己判断で通院を中止し、今は受診していない	0	0.0	0.0
その他	1	25.0	11.1

問8 検査を受けていないのは、どのような理由からですか(複数選択可)



	H29	H28	H26
問1で「肝炎ウイルス検査を受けたことがない」と回答した者の数(再掲)	197	171	157
	回答数(人)	回答率(%)	回答率(%)
定期的を受けている健康診断等のメニューにないから	79	40.1	36.8
きっかけがなかったから	61	31.0	28.1
自分は感染していないと思うから	59	29.9	27.5
検査について知らないから	58	29.4	27.5
特に理由はない	55	27.9	21.6
検査をしてくれる機関や場所がよく分からないから	45	22.8	14.0
費用がかかるから	18	9.1	10.5
検査に行くのが面倒だから	12	6.1	9.9
忙しいから	11	5.6	9.4
分からない、覚えていない	4	2.0	1.8
悪い結果を知るのが不安だから	3	1.5	0.6
その他	1	0.5	2.9

問9 今後機会があれば検査を受けてみたいと思いますか(一つ選択)

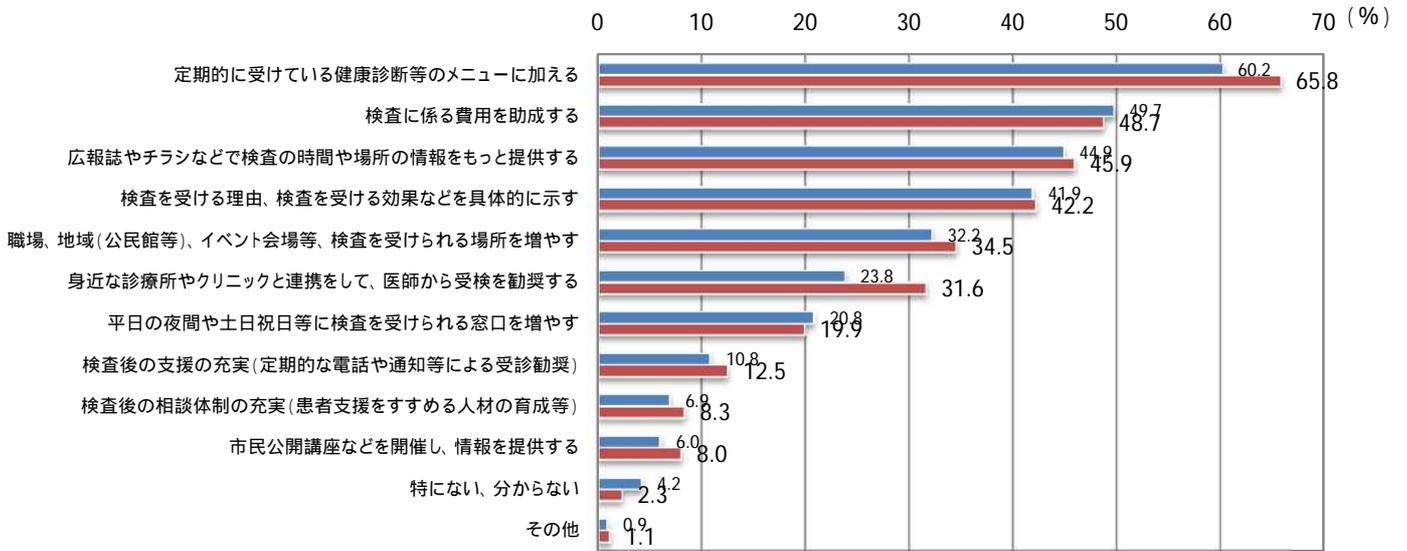


	H29	H28	H26
問1で「肝炎ウイルス検査を受けたことがない」と回答した者の数(再掲)	197	171	157
	回答数(人)	回答率(%)	回答率(%)
ぜひ受けてみたい	51	25.9	25.1
どちらかといえば受けてみたい	100	50.8	52.0
受けたくない	6	3.0	4.7
分からない	34	17.8	18.1
無回答	5	2.5	0.0

問10 治療を中止又は受診していないのは、どのような理由からですか(複数選択可)

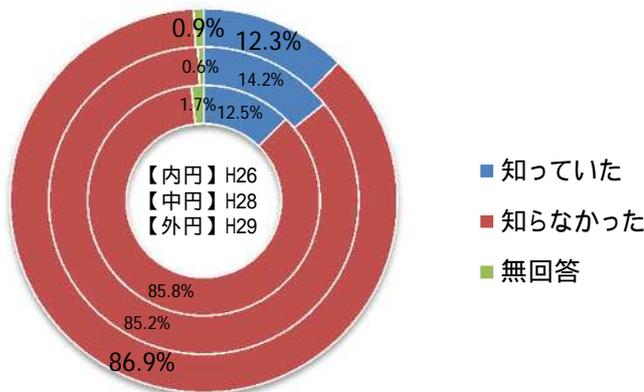
	H29	H28
問7で「受診したが、自己判断で通院を中止し、今は受診していない」又は「一度も受診していない」と回答した者の数(再掲)	0	1
	回答数(人)	回答数(人)
現在、症状はないため、受診の必要性を感じないため		1
仕事や家庭の事情で受診できないため		
受診する医療機関が分からなかったため		
近隣に医療機関がないため		
金銭面の理由で受診できないため		
病気が職場や親族に知られてしまうため		
その他		

問11 どのような行政施策があれば肝炎ウイルス検査を受けてみたいと思いますか (複数選択可)



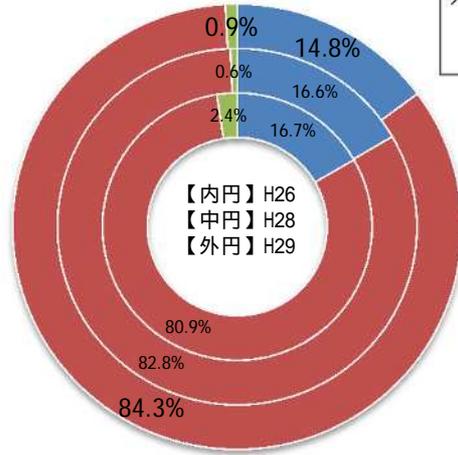
	H29		H28
	回答数(人)	回答率(%)	回答率(%)
全回答者数(再掲)	351		332
定期的を受けている健康診断等のメニューに加える	231	65.8	60.2
検査に係る費用を助成する	171	48.7	49.7
広報誌やチラシなどで検査の時間や場所の情報をもっと提供する	161	45.9	44.9
検査を受ける理由、検査を受ける効果などを具体的に示す	148	42.2	41.9
職場、地域(公民館等)、イベント会場等、検査を受けられる場所を増やす	121	34.5	32.2
身近な診療所やクリニックと連携をして、医師から受検を勧奨する	111	31.6	23.8
平日の夜間や土日祝日等に検査を受けられる窓口を増やす	70	19.9	20.8
検査後の支援の充実(定期的な電話や通知等による受診勧奨)	44	12.5	10.8
検査後の相談体制の充実(患者支援をすすめる人材の育成等)	29	8.3	6.9
市民公開講座などを開催し、情報を提供する	28	8.0	6.0
特にない、分からない	8	2.3	4.2
その他	4	1.1	0.9
無回答	4	1.1	1.2

問12 県内の各保健所では、B型、C型肝炎ウイルスの検査を無料で実施していますが、このことをご存じでしたか (一つ選択)



	H29		H28	H26
	回答数(人)	割合(%)	割合(%)	割合(%)
合計	351	100.0	100.0	100.0
知っていた	43	12.3	14.2	12.5
知らなかった	305	86.9	85.2	85.8
無回答	3	0.9	0.6	1.7

問13 県では、B型、C型肝炎ウイルスに感染し、精密検査の結果抗ウイルス療法（インターフェロンフリー治療等）が必要と診断され、治療を受けている者を対象に、医療費の自己負担分の一定額を公費で助成しています。このことをご存知でしたか（一つ選択）

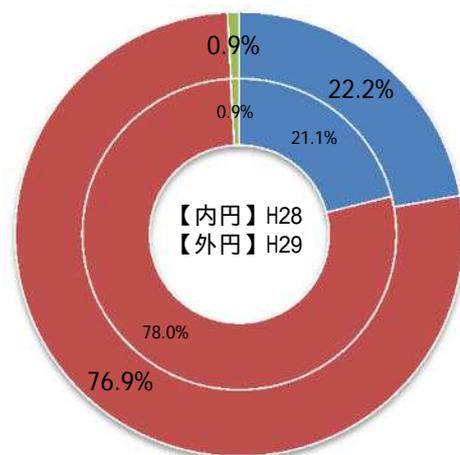


※ H26については、インターフェロンフリー治療ではなくインターフェロン治療の助成についてたずねたもの。従って、単純比較はできないが、参考として掲載した。

- 知っていた
- 知らなかった
- 無回答

	H29		H28	H26
	回答数(人)	割合(%)	割合(%)	割合(%)
合計	351	100.0	100.0	100.0
知っていた	52	14.8	16.6	16.7
知らなかった	296	84.3	82.8	80.9
無回答	3	0.9	0.6	2.4

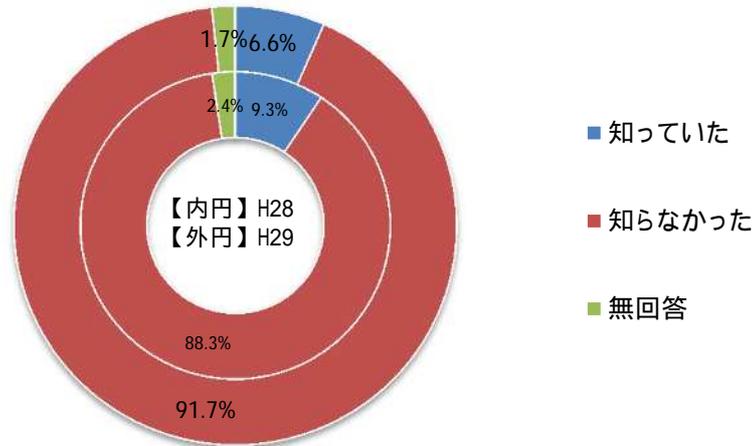
問14 C型肝炎ウイルス性肝炎の新しい治療法（インターフェロンフリー治療）をご存知ですか（一つ選択）



- 知っていた
- 知らなかった
- 無回答

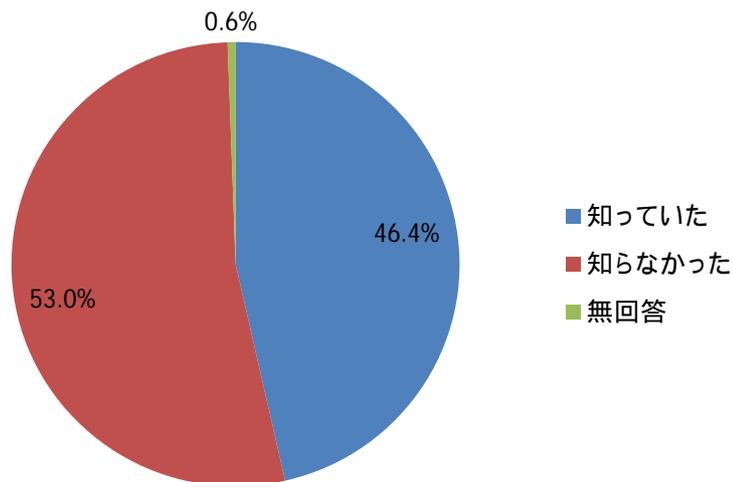
	H29		H28
	回答数(人)	割合(%)	割合(%)
合計	351	100.0	100.0
知っていた	78	22.2	21.1
知らなかった	270	76.9	78.0
無回答	3	0.9	0.9

問15 肝炎ウイルス検査で陽性となった方に対して、受診勧奨などの支援や初回精密検査費用、定期検査費用を助成する制度をご存知ですか(一つ選択)



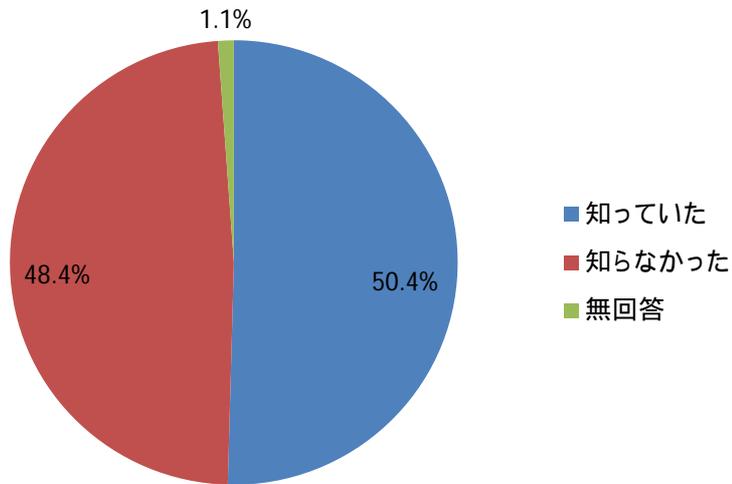
	H29		H28
	回答数(人)	割合(%)	割合(%)
合計	351	100.0	100.0
知っていた	23	6.6	9.3
知らなかった	322	91.7	88.3
無回答	6	1.7	2.4

問16 B型肝炎の原因についてご存知ですか(一つ選択)



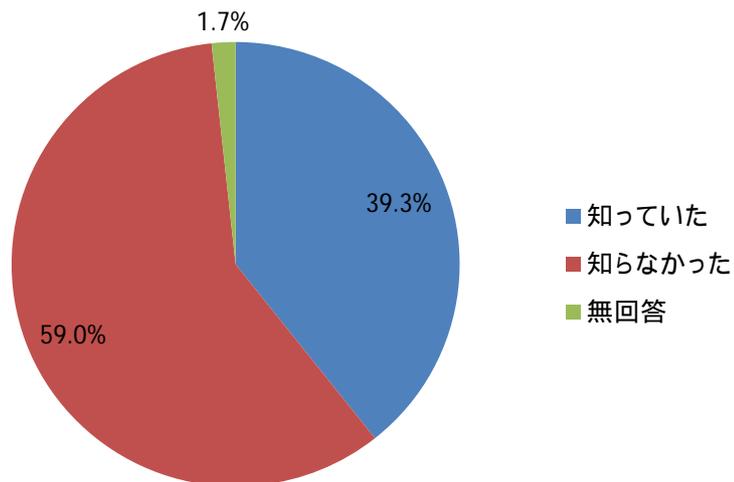
	H29	
	回答数(人)	割合(%)
合計	351	100.0
知っていた	163	46.4
知らなかった	186	53.0
無回答	2	0.6

問17 C型肝炎の原因についてご存知ですか(一つ選択)



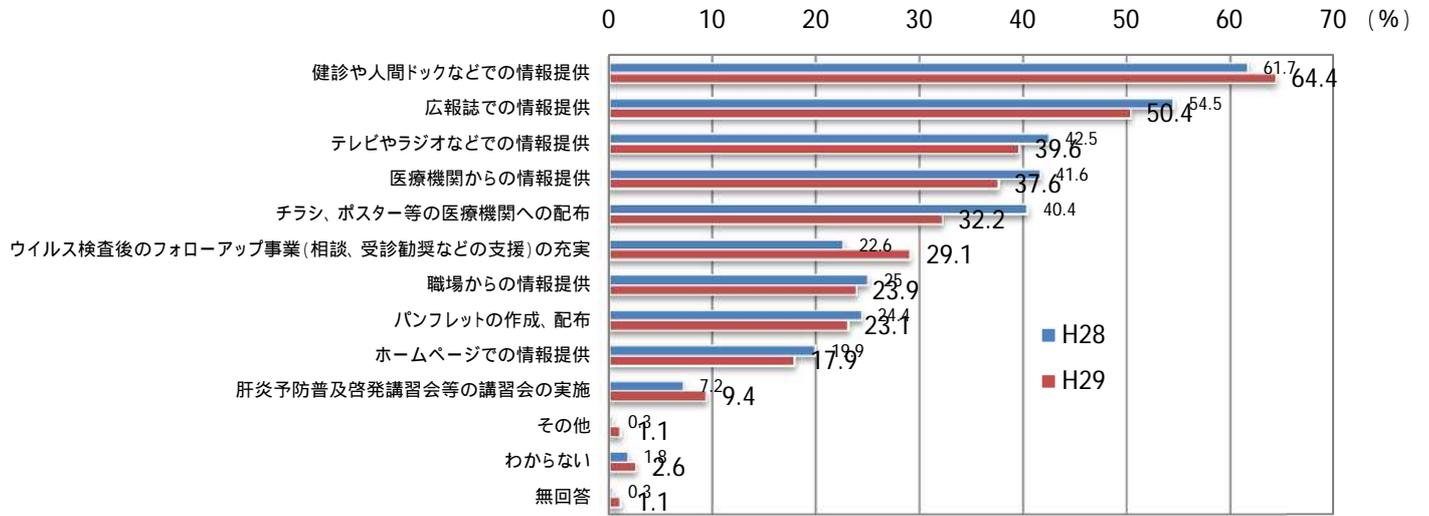
	H29	
	回答数(人)	割合(%)
合計	351	100.0
知っていた	177	50.4
知らなかった	170	48.4
無回答	4	1.1

問18 肝がんを発症する原因についてご存知ですか(一つ選択)



	H29	
	回答数(人)	割合(%)
合計	351	100.0
知っていた	138	39.3
知らなかった	207	59.0
無回答	6	1.7

問19 治療が必要な未治療の方へ新しい治療法（インターフェロンフリー治療）や県の医療費助成制度などをお知らせする有効な手段は、何だと思われますか（複数選択可）



	H29		H28
	回答数(人)	回答率(%)	回答率(%)
全回答者数(再掲)	351		332
健診や人間ドックなどでの情報提供	226	64.4	61.7
広報誌での情報提供	177	50.4	54.5
テレビやラジオなどでの情報提供	139	39.6	42.5
医療機関からの情報提供	132	37.6	41.6
チラシ、ポスター等の医療機関への配布	113	32.2	40.4
ウイルス検査後のフォローアップ事業(相談、受診勧奨などの支援)の充実	102	29.1	22.6
職場からの情報提供	84	23.9	25.0
パンフレットの作成、配布	81	23.1	24.4
ホームページでの情報提供	63	17.9	19.9
肝炎予防普及啓発講習会等の講習会の実施	33	9.4	7.2
その他	4	1.1	0.3
わからない	9	2.6	1.8
無回答	4	1.1	0.3

問17 その他、本県の肝炎対策に関してのご意見や、ご要望などがありましたらご記入ください(自由記載)

全回答数	回答数(人)		
	計	男	女
意見回答計	82	31	51
18・19歳	3	1	2
20歳代	7	5	2
30歳代	8	2	6
40歳代	12	4	8
50歳代	13	4	9
60歳代	18	5	13
70歳代	20	10	10
80歳以上	1	0	1
不明	1	1	0

検査関係

年代	性別	ご意見等
18・19歳	女	肝炎ウイルスを無料で検査できることは知らなかったの、機会があれば受けてみたい。
20代	男	無料でできるようにするべき。
30代	女	今までなじみのない病気で、正直考えたことがなかったです。健康診断の時に一緒に受けられるようにできれば分かりやすく、身近なものになると思います。
	女	肝臓の健康のためにたくさんの取り組みをして頂いていることを知り、大変ありがたく思っております。夫の肝臓の判定がいつもCかD判定なので、取り組みを利用して、検査に行ってもらいたいと思います！
50代	男	特にありませんが、定期的に行われている健診に検査の項目を追加して行って下さい。
	男	健康検診、人間ドックなどで、B型、C型検診を受けましたか？とかありますが、自動的に検査する仕組みにして、本人に了解してもらえる様にしたらどうですか？法律的問題があるか？
	男	治療の助成制度が出来る前に、完治した。比較的日本人に少ないウイルスで1年ほどの治療で完治。以降は定期的に通院し、検査を行っていた。そのうち、肝炎よりも高血圧やコレステロール値に関する通院のようになっていき、5年くらい前から通院をやめている。一度、ウイルスが入るとガンになる率が高いと聞いていたので、定期的な健康診断では肝臓の数値を気にしている。治療中、お金がかかった。
	女	自分は大丈夫と考えている人が殆どだと思う。定期的に(5年とか)健康診断に取り入れてほしい。
	女	肝炎ウイルス検査については過去に実施し、受診した人間ドックのメニューにあったかもしれませんが、検査したかどうかわからないので、すみません。このような回答になってしまいました。
	女	輸血や注射針の使い回しをされていなければ関係の無い病気だと思っていました。市町村の検診等で血液検査の項目に加えてもらえば良いと思いました。
60代	女	毎年行われている市町村検診に項目として入れて欲しい。
	男	私は35才より毎年人間ドックを受けていますが、肝炎といわれた事がないので大丈夫とっております。人間ドックの中にその検査が入っているのか入っていないのかよくわかりません。医療機関に人間ドックの際肝炎検査を義務づけるよう要望します。
	女	C型肝炎の疾患となっているんな事を知りました。関係機関に足を運ぶことが大変でした。今はウイルスがなくなり、何ヶ月かおきに病院に行っていますが、早めに検査は必要ですね。
	女	ウイルス肝炎の患者、感染者が300万人を超しているとは、驚きです。山梨は、C型肝炎の感染者が多いことは知っていました。私の父も注射針の使い回しで、C型肝炎に感染し、肝ガンで亡くなりました。70才でした。同じ医院に受診した人は多くがC型肝炎を発症しました。自覚症状が乏しかったため、30年以上たって受診した時は、インターフェロン治療もできず...、肝ガンを発症してしまいました。もっと早く検査し、発見していれば、治療していればと、今でも悔やまれます。県民が、少なくとも1回は肝炎ウイルス検査受けることができれば、前進できると思います。「第2次山梨県肝炎対策推進計画」期待しています。
	女	今年6月に肝炎検査(無料検査)を受けました。A判定で安心しています。多くの県民に検査を受けて欲しいと思います。
女	自分の勉強不足ですが問12~15を知りませんでした。娘がB型肝炎に25年くらい前にかかり、その時は入院2週間くらいで、たぶん一過性感染だと思います(現在はまったくなんでもないです。)。その時は弟がうつるという事で同級生も含めて見舞いもダメといわれた事を思い出しました。たぶん問12などは近年の事なのでもっと目につくような所に掲示してほしいし、人間ドックなどでかんたんに受けられるようにできればと思います。実際にかかる費用がすごくかかるので、予防で助成制度をもっと適用していただいても簡単に受けられれば良いと思います。肝炎=インターフェロンというイメージだったのでインターフェロンフリー治療というのは、良かったと思います。	

問17 その他、本県の肝炎対策に関してのご意見や、ご要望などがありましたらご記入ください(自由記載)

検査関係 (続き)

年代	性別	ご意見等
60代	女	自分は感染をしていないと思ってきました。年金生活であり、親の介護中でもあり、自分の健康診断もままならない状態です。相談窓口があり、色々な情報提供がある事を、なんとなく知っていた様な気がしていましたが、わざわざ調べに行こうとはしていませんでした。健康診断の中に追加してあれば、受ける事が出来る様になると思います。
	女	なかなか個人からすすんで病院にいった検査をすることは難しく、健康診断・人間ドックの時に検査して下さいと思います。
	女	20年近く人間ドックで検査しています。肝炎検査をしたのか忘れてしまいました。再検は可能なのか？一度検査して陰性であれば良いのでしょうか？新聞か県の広報誌に載せて下さい。
	女	肝炎ウイルス検査に関しては、自覚症状が乏しい事などから、日常生活に影響なく生活できる事から、検査を積極的に受けようとは思わなく、それが検査率の低下と重症化につながっていると思います。虫歯や歯槽膿漏の方がまだ(日常)生活への影響がある為、受診につながっているのではないかと考えます。いずれにせよ、重症化を防ぐ為、全員の検査、必ず健康診断の必須項目として実施し、現状や原因・予防について、更に、県民全体に知らせをする必要を感じます。あらゆる手段を活用し早期対策が求められていると考えます。このアンケート結果なども、公表し意識改革に活用すべきと考えます。
70代	男	私個人の意見ではありますが、自覚症状に乏しいのか、自分は大丈夫と思っている者が多いのでは、皆それぞれ多忙な日々を過ごしており、これが為、わざわざ検査に出向くほど深刻に受けとめていないのが現実だと思います。各市町村、会社等が実施する健診、特定の検診等で出来るような方が良いと思いますが。
	男	病気等で病院・医院に行った時にそこで血液検査を自動的に受けられる様にすると、行った人も健保で済むので良いのでは。それを徹底的に行えば潜在感染者が見つかるのではないかと...。潜在感染者との接触が感染ルートとの話を聞いた事があります。又未婚者の人達が何も知らずに結婚すると産まれてくる赤子が自動感染者になるとも聞いた事があります。

フォローアップ・支援体制関係

年代	性別	ご意見等
40代	女	働いていると検査の機会があると思うので、職場での検診時に必要性を伝え、メニューに入れる等が必要だと思います。私自身出産時に検査するまで、気にした事ありませんでしたが、感染している事を知らずに悪化させたり、人にうつしてしまったりするのがこわいので、検査やフォローアップをして頂きたいです。母子感染で、肝炎の人が友人にいますが、かなり細やかな受診をしています。それを聞くと、周りも安心していられます。知らずに感染させてしまう事のないよう、受診機会が得られるような場の拡充と、情報提供をして頂きたいです。かかりつけ医での定期フォローをして欲しいです。
70代	女	私が毎年受けている中で肝炎ウイルス等に関しては、治療を必要とすることがなかったので、検査後の「フォローアップ事業」がどのように実施されていることを初めて知りました。こんな制度があることを、検査を受け、治療を必要とする人には是非知っていただき、早めの治療を受け、健康な体をとるもどして元気に生活・仕事をしていって欲しいと思いました。
	女	私の知人が毎月、手の甲に注射の治療を受けていた人が病院をかえた所、薬での治療に変わりとても楽になったと言います。もっと早く知っていたら痛い思いをしなくても良かったのにと、やはりいろんな方法で早く患者の人達には正しく楽に治療出来る病院など知らせて欲しいと思いました。

予防関係

年代	性別	ご意見等
18・19歳	女	山梨県の肝炎対策がより推進されていけばよいと思います。肝炎の予防接種についての情報の提供もあると、わかりやすいと思います。
40代	女	将来的な予防として、小中学生から出前授業で広めていく。子どもは真面目で素直に聞いてくれるから、将来気を付けてくれると思うし、親にもすすめてくれるのではないかと。
	女	テレビやラジオでなんとなく情報を聞いた事はあるが詳細(なぜ必要か、誰が必要か)についてあまりに知らない事が多く自分には関係がない気がしていました。もし誰もが検診を受けた方が良いのであれば広く知らせ、そこから治療が必要な人を見つけ出さなければいけないと思います。
	女	毎年人間ドックを受けていますが肝炎ウイルスの話を知り検査を受けるようにといった指導もなくなんとなくTVCMで名前を聞いたことがあるな、くらの認識しかありませんでした。乳がん検診ほど周知されていない気がします。少し情報収集してみます。

問17 その他、本県の肝炎対策に関してのご意見や、ご要望などがありましたらご記入ください(自由記載)

広報関係

年代	性別	ご意見等
20代	男	情報が少ないため、学生の私には、ほとんど知識がないことが分かりました。私のような人は多いと思いますので、もっと広報活動を行って下さい。
	男	肝炎ウイルスは最も多い感染症だと思います。肝炎対策として、ホームページ、リーフレット、公共機関、各事業所や職場等において肝炎ウイルスを知ってもらい、人間ドックや検査でうけてもらえるように推進していけば良いと思います。
	男	障害をもった人達への周知徹底方法
	女	父がC型肝炎なので身近に感じました。でも知らないことが多く、もっと気軽に知る機会があればいいと思いました。
30代	男	県民への情報周知が不十分だと思います。
	男	私の場合そもそも肝炎に関しての発症原因、感染経路、症状、対応など一切の事を知らなかったので浸透性について気になる所です。例えば教育現場での知識としての伝達は大事かもしれませんが、テレビのCMなどでも伝えられると良いかもしれませんが、各職場に向けて案内紙を作るのも良いかもしれませんが、一般常識として浸透するような取り組みがあると良いと思います。
	女	医療機関に勤めているので、ある程度はわかりますが、実際自分が検査をするとなると、正直抵抗があります。キャリアの人達に対しても偏見もあると思います。直接肝炎に関わる科ではないですが、患者さんは窓口にあるパンフレットを意外と手にして下さいます。ポスターの前で立ち止まるのは抵抗がある人も、パンフレットだったら手にしやすいのではないかと思います。
	女	市町村から送られてくる健診の通知の中に詳しく病気の概要やなぜ受けた方が良いのか、検査方法などを一緒に送付する。採血は必ず一度は行うのだから、一緒に行えることを知ってもらおう。
	女	山梨が感染率が高い事も、様々な助成がある事も、治す事の出来る病という事も、今回のアンケートで初めて知りました。感染率が高いのは、決して良い事ではありませんが、逆にその事実を前面に出して、注意喚起する事はとても効果があると思います。若年者に感染者が多いという事なので、学校等などでの案内ももっと増やした方が良いのでは？と思いました。
女	肝炎については、まだまだ身近な病気であるという意識が低く、知識がない人が多いと思う。また血液感染など、感染経路も特別な状況に感じるので、自分がウイルスを持っているかもしれないという意識も無いと思う。なので、もっと肝炎のことについて情報提供して欲しいです。	
40代	男	肝炎ウイルス無料検査や医療助成制度など、知らない人が多いと思います。医療機関や公的な場所にポスターを貼るなどして、積極的に周知をして欲しいと思います。
	男	地域の県民便り等で大きく取り上げたらいい。
	男	私を含め肝炎についての知識があまり浸透していないと思います。保健所で無料検査をしているならば、検診しやすい集団検診及び職場の健康診断時に勧めた方がより受検者の増加、情報提供がなされると思われれます。
	女	・親戚にC型肝炎になった人がいます。何十年も前に輸血してなりました。その時に出なくても20~30年たってC型肝炎とわかりました。その後、治療をして今でも定期検診しています。 ・B型、C型肝炎ウイルスの検査を無料でやっているとは知りませんでした。もっと一般の人達にも情報がわかるようにしてほしいです。
	女	健診や病院に通院していれば1度は検査するものだと思いますが、(+)と結果がでた人に対して医師やかかわる医療従事者から積極的に病気に対する知識や治療の必要性や助成金の説明をしていただけると良いと思います。
50代	男	このアンケート調査で初めてした事が多い。年代毎(20才、30才、40才、...)になった時にはがき等で案内し受診率UPを図っては？
	女	肝炎ウイルス検査については、TVで情報を流した方が、誰にでも分かりやすいと思います。たとえば肺炎球菌の予防接種のように。その上で市町村からの通知があった方が良いと思います。市役所から通知が来ましたが、その通知で検査を受けたことはありません。このモニターをして、インターフェロンフリー治療を教えていただき、ありがとうございました。
	女	私のように病名を知っていても、医療費の助成制度や近くの保健所で無料検査が実施されていることを知らない人は多くいると思います。検査が簡単にできる事を多くの人に知って頂きたいと思います。
	女	自分の事に関して申しますと、過去に市町村の健診にて、B型(またはC型)肝炎の検査についての選択があったとは思いましたが、あまり重要視していませんでしたので、受けませんでした。検診時、もう少し積極的な声かけや、説明などがあつたら、受けようという気持ちになつたかもしれない(今回このアンケートによりあまりにも自分がB型、C型肝炎について知らなかった)ので)思いました。今まで以上に、様々な媒体や検診時の声かけなどにより、積極的に検査や治療に関して推奨していく事は大切だと思います。

問17 その他、本県の肝炎対策に関してのご意見や、ご要望などがありましたらご記入ください(自由記載)

広報関係 (続き)

年代	性別	ご意見等
60代	男	友達・身近な人に肝炎を発症して完治・通院している人がいるが、患者自身から告知がなければ知らずに、後から人づてに知るケースがある。肝炎情報などはネットで分かるが、県・市町村の情報誌発信を願う。
	女	娘が生まれた時、新生児メレナと診断されその治療で輸血があったのかと心配になり、保健所で検査をしていただきました。結果は陰性で大丈夫でした。その時にすぐに検査も出来て無料だという事も知りました。 あまり関わりが無い人は無関心だと思うので、色々な形で情報を発信して提供して欲しいと思います。
	女	肝炎になっている人が医療機関にかかる場合本当に行っているのでしょうか？B型(+)C型(+)と言ったら差別され、かかれなくなってしまうのではないかと？もう少し情報を提供し、大丈夫ですということを知らせる必要がある。
70代	男	一般的には肝炎の検査を受ける機会がなく、知らない人が多いと思うので、もっと肝炎についてアピールし、情報提供を増やす。
	男	県内全ての医療機関(健康診断、人間ドックを含む)と連携をして、医師から受検を強く勧奨する。当然システム、パンフレット等を統一しておくことが前提となる。 お役所仕事によく見かける「広く多数の道筋」は一見良さそうに思えるが、アピールの強さに欠ける欠点があり、全県民に浸透しない結果となる。 単純化、統一化、一本化こそが、徹底させる条件とも思えてならない。
	男	受検時に助成制度を知らされることがほとんど。事前に制度を理解できているよう、行政、地域による更なる広報活動の充実を望む。
	女	テレビやラジオでの伝達は、日々聞いておりますが、特別な人の事と思っていました。しかし今回このアンケート内容より、全員の方が検査の必要があるのではと、びっくりしました。結核のように空気伝染ではないようですが(感染経路も、いろいろあるようですが)、全員が検査の必要があるでしたら、胸のレントゲン検査のように、全員に検査を出来るようにする必要があります。現状のテレビやラジオでの伝達ですと、特別な人の事と思えますが、私の理解力不足でしょうか？よろしくお願い致します。 事の重大さが、正しく伝わっていないと重ねて思います。
	女	身近にC型肝炎の方がいますのでなんとなく知っていましたが理解していませんでした。今回のアンケートで分かった事が多くて良かったと思いました。もう少し広報誌などで情報提供を、分かりやすくお知らせする必要があると思います。
	女	山梨は地方病もあったのもっと皆に説明と関心をもたせてほしい。 B型とC型の違いがわからなかったのが今回でよくわかりました。内科にかかる時、先生の方から説明があるとありがたいです。
80代	女	高齢なので情報があまりありません。色々な病院などで教えてくれるとありがたいです。市町村の健診などでも教えてくれると良いと思います。

問17 その他、本県の肝炎対策に関してのご意見や、ご要望などがありましたらご記入ください(自由記載)

その他

年代	性別	ご意見等
不明	男	輸血とかした事が無いし、女性との性交渉も無いので関心が無かった。
18・19歳	男	色々な病気や対応を知る事が出来て良かったです。 ちなみに幅が狭いので字が書きづらいです。
20代	男	知っているか知らないかの選択は一部は知っているので判断に迷った。 若者は注射針が衛星な環境で育ったので、かからないと思っていたがそうではないことを知った。
	女	肝炎のこともよく知らないの、まず、治療・検査より病気のことを知りたい。
40代	男	山梨県は山梨大学医学部附属病院の肝疾患センターを中心に取り組んでいると思います。
	女	特にないですが、今回肝炎ウイルス検査や対策のことが少しわかりました。たくさんの方が検査を受けてくれたらいいと思います。
	女	健康診断結果表にある HCV抗体 HCV抗原 HCV-RNA というものが(-)でしたので C型肝炎の疑いはないという認識でいますが、なんだか不安になりました。
50代	女	私の住んでいる地区では肝炎の方が多く、亡くなった方もいますが、昨今の医療技術の進歩で入院治療後、以前と全く変わらない生活をしていらっしやるので、心強いと思います。この地区の肝炎の原因としては、近所の開業医(今はありませんが)の注射針の使い回しが原因だと噂されていました。また、人間ドックの胃カメラが感染の危険性があると言う人もいて、こわいと思います。技術のますますの発達により肝炎が無くなるように願っています。ちなみに主人の母が肝硬変だったので、肝炎については他のご家庭よりは神経質だと思います。
	女	肝炎に関して、全く知識がありませんでした。このアンケートで初めて知りました。ありがとうございます。
60代	男	肝炎について今まで自分には関係の無い事と無関心でした。その為一度も検査を受けた事はありませんでした。これを期に受診してみたいと思っています。
	男	肝炎ではないが、私先日脳梗塞の疑いがあるという事で入院。血液検査で梅毒が陽性といわれました。後日間違いだと言われたが、なんとも無責任でいいかげんなものだと思います。
	男	肝炎の重要性が良く理解できない。
	女	昨年は12月～2月までインターフェロンフリー治療を主人が受けました。今はウイルスがなくなりました。長い間C型肝炎で薬を飲んでいたのですがテレビで3ヶ月間飲み続けるとウイルスが死ぬすごい薬があると聞きました。 ある病院で相談し、別の病院を紹介され、そこで県の助成があることも聞き、年金生活でも治療することが出来て本当に感謝しています。
	女	4年ほど人間ドックを受けています。自分では大丈夫と思っていました。でも母が肝臓を悪くしていた事を思い出しました。次回人間ドックの時に、検査が出来れば受けたいと思います。
70代	男	肝炎になった事が無い為知識が無い。
	男	B型、C型肝炎は恐ろしい病気だと思っていましたが、体調が悪化したり、定健の結果で分かるものと思っていました。今回の情報で知り、保健所へ連絡して検査をお願いしたいと思います。
	男	今回のアンケートについて知識がないため、どうしてウイルス検査なのか、必要性がわからない。自分は定期的に町の病院にいらしていますがこの様な話は、はじめて聞きました。知識不足でしょうか。
	男	高齢者ですが、肝炎ウイルス、肝炎、肝がん等病気に関係無しではいられない。周囲にもご厄介にならないよう学びながら元気にいたい。
	男	肝炎が輸血などでなると言うような事を聞いた事がありますがくわしい事はわかりません。大事な事だとは思いますが今の自分には関係がないと思っています。
	女	肝炎ウイルス、C型肝炎、肝硬変、肝ガンという言葉は聞きますが、実際に周りにその様な方がいませんので…。中でも肝硬変と言う人の事はよく耳にします。
	女	インターフェロン治療を受けている人から、体調的には大変だという話は聞いていましたが、助成制度については聞いたことがないので、知りませんでした。
	女	C型肝炎に身内がなり、今年6月に亡くなってしまいました。子供出産時の輸血によるもので何年か苦しみましたが、76才でこの世を去りました。
女	私の近くにも治療中の方も居られますが、近頃は治ったのか余り大変とか言っていません。私は年に2～3回かかりつけで検査をしています。数値も問題ない様ですが、酒(アルコール)からでなくても、(肝臓以外の)服用中の薬からも、気を付けなければならない事に常に注意しています。	